



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

RIテーマ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブテーマ「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」会長 西原克甫

副会長 渡邊照芳 幹事 内田憲一

第1007回 例会 2010.07.16 (金) 雨

司会:山本 章君 指揮:久保栄子君

ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F

TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 西原克甫君

地区ロータリー情報

7月11日 日曜日 長泉福祉会館にて国際ロータリー第2620地区米山記念奨学生学友会 2010年第2期通常総会にせせらぎ三島ロータリークラブお世話の米山記念奨学生 エサ・ラディティア君と出席して参りました。

当日カウンセラーの兼子さんが所用でご出席できないため代理です。

第1部で学友会の横断幕が地区ガバナーから贈呈されました。(贈呈式が行われました。)

第2部 第2期通常総会にて

- 第1号議案 昨年度の事業報告書の承認
- 第2号議案 昨年度の収支決算書の承認及び監査報告
- 第3号議案 任期満了に伴う役員を選任及び承認
- 第4号議案 2010-11年度事業計画案の承認
- 第5号議案 2010-11年度収支予算案の承認
- 第6号議案 学友会会則、学友会細則の改訂案の承認

中山正邦ガバナー祝辞

勝山国太郎アドバイザー祝辞

関 ガバナーエレクト祝辞

富田明委員長挨拶

第3部 懇親会 各自、自己紹介にて閉会いたしました。私の、感想付けたささせていただくと、当日、今年度の奨学生22名中出席されたのは、当クラブのお世話の、エサ君を含んで4名でした他は、学友会の方々でした。エサ君の真面目さと、当クラブの真面目さが顕れた気がしました。毎月、一回は、エサ君が例会に出席しますので、是非、皆さん声をかけて、励まして下さい。13日今期の大切な事業の一つであります。青少年育成委員会主催の3年目の自分への手紙の準備が整い、三島の教育委員会、函南の教育委員会に青少年育成委員長石井司人君と岡君が届けて戴きました。ありがとうございます。詳しい報告は、委員長さんが後程されると思います。青少年委員会の皆様ありがとうございます。ありがとうございました。



話は、変わりますが、世界中を熱狂させたサッカーワールドカップ、スペインの優勝が決まりました。各試合、接戦で楽しみました。日本も強く、皆さんもおおいに期待されたと思います。もっとすごいのは、ドイツの占いたコですね、8試合すべて当てました。こんな不思議なことが現実にあるんですね。ほんとにびっくりしました。皆さんはどう思われましたか?????????????

話のネタを 最近集中豪雨多いですね

「集中豪雨」という言葉が生まれた以外のきっかけは? 真夏日の続く最近の夏は「集中豪雨」という言葉を聞く機会が多い。この集中豪雨という気象用語を最初に使ったのは、朝日新聞の記者だったそうです。1953年(昭和28年)8月14日、京都府の木津川上流で大雨が降り、死者行方不明者合わせて429にもおよぶ大きな被害が発生した。その翌日の朝日新聞(大坂本社版)に、「集中豪雨 木津川上流に」という見出しに続き、「寒冷前線は激しい雷と豪雨を伴って京都、滋賀、奈良府県境に当たる木津川上流に集中豪雨を降らせ」という記事が載った。この記事をきっかけに「集中豪雨」という言葉が使われるようになり、やがて気象用語として採用されたそうです。話のネタの一つにしてください。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/35	88.57%	35/35	100%
今回	27/35	77.14%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

石井(和)君、太田君、片野君、加藤君、金澤君、山口(雅)君、山本(良)君、米山君

幹事報告

幹事 内田憲一君

1. 沼津ロータリークラブより
8月13日の例会は休会とします。尚メイクアップはできません。
2. 三島商工会議所青年部より創立15周年記念事業への協賛金のお礼が来ています。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

エサ・ラディティアさん(米山奨学生)



スマイルボックス

澤田 稔君:西原会長、内田幹事、及び理事・役員の皆さん、この一年の成功をご祈念申し上げます。

石井司人君:所用の為早退します。

卓話

VMV

服部光弥君

「はじめに」

山梨年度の2月14日のIM時に入会させていただき、大変ありがとうございました。新年度になり新しい手帳に自分自身が加わっているのを大変嬉しく思います。まだまだ会の決まりごと等は良く解りませんが、手帳のP19に記されている「会員推薦手順」に推薦状の提出→理事会審議→全会員に承認封書の送付→ゲスト出席→入会という手順がありますが、全会員から承認をいただけたということも不思議でなりません。本当にありがとうございました。

今日は本来でしたら「赤裸々」に自分自身の自己紹介も兼ねてお伝えしようと思いましたが、不信任の通知が怖いので今日は自分自身が常に考えてる「VMV」をお話させていただきます。

先ずその前に・・・本日は7月16日。私にとって7月という月は今までの人生40年の間でも「転機」となることが多く、7月は私がこの仕事をやりたい！と決意した月(1993年7月12日)そして結婚を決めて入籍をした月(7月19日)、つい最近では昨年2009年7月3日に社員を事故で亡くし、同月の7月15日に二人目の社員を事故で亡くし・・・昨日で1年が経ちましたが、まだまだ・・・
「V:Vision:見通し、理想、想像」

私は中学の頃から「無人島でロビンソンクルーソーの生活をするんだ」と言っていました。庭先養鶏・庭先養豚でパンツードの自給自足。土をいじり太陽の下で溼潤爽快と生活をしていたい。と！ 25歳までに結婚して30歳までに子供を授かり、35歳までに会社に社長になり、40歳までに会社を大きくして、45歳で引退して「島暮らし」・・・これが夢！ 今でも見続けている夢で多くの仲間コミットしていますので必ず実現すると思いますが、昨年7月の事故から自分自身の「仕事でのVision」に到達するまでは程遠く、まだまだ会社を良くしていかななくてはならないという使命(Mission)があります。

「M:Mission:使命」

先にもお話させていただきましたが、昨年の7月に社員を2名失いました。これは私の責任でもありますので、いままで逃げずに真っ直ぐに取り組んで参りました。このことについては一生取り組んでいくことは当然ですが、このことで「気づかされた」自分自身の足

りないところ、そして会社としては是正していかななくてはならないことをこれからも、真っ直ぐ取り組みます。またこの機会をプラスとさせるべく、社員とともに努めていく必要があります。これらは会社の代表としてのMissionですが、家庭でのMissionも親として、自分自身の背中を子供たちに見せていかななくてはなりません。私個人のMissionも今まで多くの方々に与えていただいた「縁」や「気づき」を大切にし、その「縁」や「気づき」を自分自身に留めることなく、多くに伝播して、このような時代を何とかして良くしていきたいと考えます。
「V:Value:価値、重要性」

平成18年、安倍内閣時、いじめで苦しんで自殺予告をする匿名手紙を受け取った伊吹文部科学大臣が教育委員会を通して全国の子供たちとその親や教育者達に宛てた一通の手紙・・・ 今は平成22年。まったく変化なし。国家を構成する社会、社会を構成する地域、地域を構成する家庭。少し異論はあると思いますが、やはり自分自身の背中を子供たちに見せていく重要性があります。よくJC在籍中は「JCに価値はあるのか？」自問自答したものです。今ではその問いにはっきり唱えることができます。では「ロータリーに価値はあるのか？」の問いには、まだはっきりと唱えることは不可能です。これから少しずつ多く先輩方とお付き合いさせていただき、経験して学んでいきたいと思ひます。父に会社に専務に常務に社員に本当に感謝している。一番感謝するのは女房かな。ほんと感謝している。つくづくそう感じる事ができたことも、これも「多くのおかげ」。JCは卒業がありましたが、ロータリーは卒業がないようですので、本当に長い付き合いになるかと思ひます。どうか皆さん、これからもよろしくお願い致します。こんな私ですが、人生の大先輩の方々の前では意地は張りません。「大変」なときは「大変だあ」としっかりと解りやすく伝えますので、どうか宜しくお願い致します。

感謝 九拜

